

# 産業情報システムの再構築及び保守・運用委託業務

## 基本仕様書

## 【目次】

1	基本事項	2
2	背景及び目的	2
3	本業務の内容	2
4	閲覧者の目的及び令和4年度のアクセス数	4
5	現行システムの利用者	5
6	システムの再構築要件	5
7	システムの保守・運用要件	8
8	教育及び運用	10
9	成果物	11
10	その他	13

## 1 基本事項

### (1) 業務名

産業情報システムの再構築及び保守・運用業務

### (2) 履行期間

#### ア 産業情報システムの再構築に係る期間

契約締結の日から令和6年2月29日まで。

(ただし別紙3「機能要件一覧」項番47の企業側でのメンテナンス機能については令和6年3月31日まで)

#### イ 産業情報システムの保守・運用期間

令和6年3月1日から令和11年2月28日まで。

## 2 背景及び目的

広島市近郊の中小事業者への支援策案内、中小企業が有する優れた技術や工業技術センターが有する技術研究情報などを発信し、企業の経営体質の強化及び技術開発の促進、販路開拓などを支援するため、産業情報システムを運用している。

前回のシステム更新(平成30年度)から5年が経過し、スマートフォンの普及など閲覧環境の多様化など、システムを取り巻く環境は変化している。

現在のシステムは、①産業情報システムを閲覧する一般利用者(以下、「閲覧者」という。)にとって、分かりやすいサイトになっているとは言えない②スマートフォンでの閲覧を想定した作りになっていない③一部のウェブページの編集・更新に高度な専門知識を要する、保守業者に依頼しなければ編集・更新できない部分が多いなど、近年の優れたウェブサイトの管理運用システムと比較して、相対的に操作性・機能性が優れているとは言えず、また④アクセス数等解析したデータを効果的な広報に活用できていないといった課題がある。

本業務はこれらの課題を解決するため、全面的な再構築を行うことで、利用者にとってより使いやすく、より見やすく、かつ職員の業務効率化が図れるウェブサイトとすることを主な目的とする。

## 3 本業務の内容

### (1) 再構築及び保守・運用対象のウェブサイトについて

ア ひろしまの企業支援情報のウェブサイト(以下、「企業支援情報HP」という。)

イ 公益財団法人広島市産業振興センターのウェブサイト(以下、「産振HP」という。)

ウ 中小企業支援センターのウェブサイト(以下、「支援センターHP」という。)

エ 工業技術センターのウェブサイト(以下、「工技HP」という。)

オ ひろしまの企業情報ウェブサイト(以下、「企業情報HP」という。)

### (2) 再構築及び保守・運用の方針

#### ア 全体

(7) これまでのウェブサイト記載内容にとらわれず、現行のウェブサイトの情報を整理し、サイト構成や機能、配置、表現などを見直し、閲覧者にとって分かり

やすいサイトとなることを目指す。

- (イ) 各ウェブページにおいて写真を積極的に使用するなど閲覧者を視覚的に惹きつけるとともに、閲覧機器を問わず見やすいデザインとする。
- (ロ) コンテンツ・マネジメント・システム（以下「CMS」という。）を用い、情報の更新、蓄積をスムーズ、かつ、効率的に行えるようにする。
- (ハ) カテゴリ等指定のページごとの合計のアクセス解析が可能となるなど、アクセス解析を生かしやすい工夫を行う。
- (ニ) 効果的な広報手段となるようにする。
- (ホ) SEO 対策を充実させる。
- (ヘ) 円滑な保守・運用が行える体制とする。

#### イ 企業支援情報HP

広島市及び近郊の企業へ向けた企業の事業活動の充実・支援に資する情報を発信する。

- ・ 閲覧者が各種支援施策にアクセスしやすくするとともに、掲載される支援内容をカテゴリ分類するなど分かりやすいページとする。

#### ウ 企業情報HP

広島市及び近郊の企業や共同受注グループなどの取組が保有している技術・ノウハウ等を情報発信し、企業等の新分野進出や販路の開拓などビジネス機会の拡大に資するデータベースを構築する。

- ・ 登録企業の効果的なPRが可能となる構成とする。
- ・ 登録企業の閲覧数増加や相談や問合せ件数の増加につながる構成・デザインとする。
- ・ 閲覧者とのマッチングや受注実績の増加につながる効果的な仕組とする。
- ・ 登録企業自らが掲載する情報の入力・更新作業が行いやすいCMSを導入・運用し、掲載情報のデータベースの更新入力画面等はわかりやすいものとする。

### (3) 現在のウェブサイト全体構成

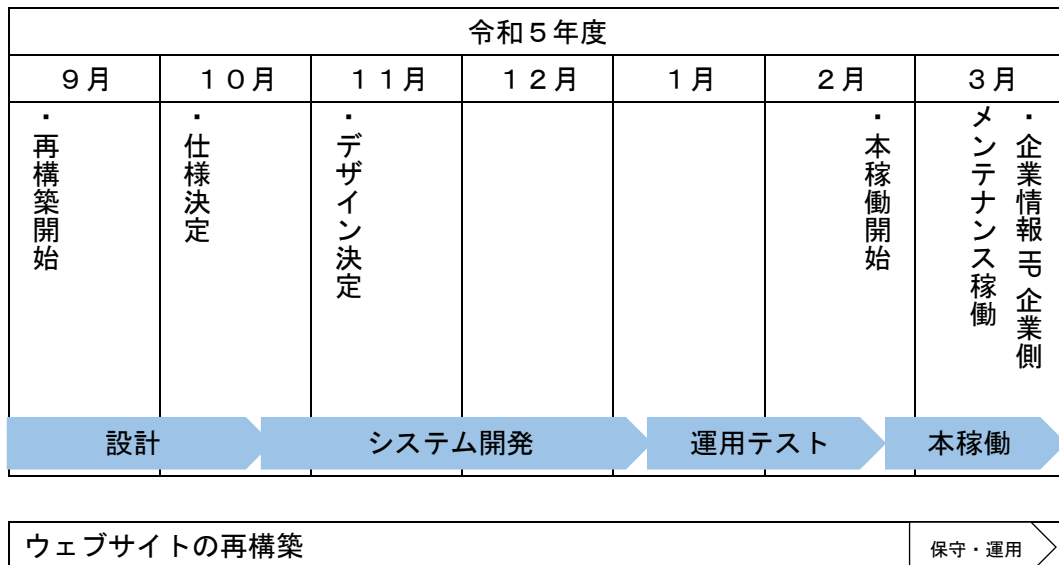
別紙1「現在のウェブサイト全体構成図」を参照。

### (4) ウェブサイトの保守・運用

項目7以下による

(5) スケジュール

産業情報システム再構築の期間は、概ね6か月を予定している。作業と工程については、発注者と十分な打ち合わせを行い、令和6年2月29日までに本稼働させる。



4 閲覧者の目的及び令和4年度のアクセス数

発注者が想定する閲覧者の目的は表1のとおりである。なお、閲覧端末はPC、スマートフォン、タブレット等あらゆる情報機器が想定される。

表1 閲覧者の目的及びアクセス数一覧

ウェブサイト名	想定される閲覧者のサイト訪問目的	R4年度アクセス数
企業支援情報HP	販路開拓、技術交流等の情報収集	6,080
産振HP	入札、採用、貸し会議室等の情報収集	27,634
支援センターHP	経営、創業等に関わる支援情報収集	142,646
工技HP	技術情報（材料、システム、デザイン等）、支援情報収集	106,416
企業情報HP	広島市近郊にある企業の概要、技術等の情報収集	236,485

## 5 現行システムの利用者

現行のシステムの利用者は表2のとおりである。

表2 システムの利用者及び利用端末一覧

ウェブサイト名	管理者（公開権限者）	編集者	端末
企業支援情報 HP 産振 HP 支援センターHP 工技 HP	発注者の職員 5名程度 編集・公開権限 ID を付与	発注者の職員 50名程度 編集権限 ID を付与 最大約30名が同時利用	PC
企業情報 HP	発注者の職員 5名程度 全登録情報に対する編集・ 公開権限 ID を付与	登録企業 500社程度 自社ページのみの編集権限 ID を付与	PC スマートフォン タブレット等

なお、発注者の職員及び登録企業の担当者はワープロソフト・表計算ソフトを操作できる程度の能力を有しており、情報の更新等において専門の知識を有しないものとする。

## 6 システムの再構築要件

### (1) システムの環境構築要件

#### ア ハードウェア（サーバ環境等）

本システムの構築に必要なサーバ環境については、クラウド環境で稼働するサーバを用いることとし、受注者において必要なサービス（ウェブサーバ、データベースサーバ等）を契約の上、構築を行うこと。クラウドサービスの選定に当たっては、ISMAP-LIU（政府情報システムのための評価制度）クラウドサービスリストに登録されているものを選定するとともに、再構築から運用・保守までの全般を考慮した上で、契約期間中に性能不足等にならない最適と考える環境を選定の上、発注者に提案すること。なお、その他必要となる機器については、受注者において調達、導入をすること。

#### イ ソフトウェア

ウェブサーバ及びデータベースサーバ用OSも含めて調達するとともに、それに適合するウイルス対策ソフトも調達を行うこと。

#### ウ セキュリティ

ウェブサーバ及びデータベースサーバ等への不正なアクセスを防止するため、ファイアウォールを設置すること。設定内容は契約締結後に発注者と協議の上、決定することとするが、不正アクセス等の防止の観点で有効と考えられる設定内容について、提案すること。また、WAF（Web Application Firewall）の設置を行うこと。不正プログラム対策として、以下の対策を講じること。

- (7) 通信の暗号化のため、SSL 証明書を導入すること。常時 SSL 暗号化通信を行うこと。
- (4) コンピュータウイルス、マルウェアなどの不正プログラムによる情報の改ざん、毀損、漏えい等を防止するため、機密性・完全性・可用性の3要素に留意の

上、サーバ機器等に適切な不正プログラム対策ソフトを導入し、感染の予防及び検出・駆除を行うこと。また、常に最新のウイルスパターンファイルを適用すること。

- (ウ) 常に OS のアップデートやパッチの適用など、セキュリティホール解消措置を施すこと。JVN 等の脆弱性対策情報を活用し、構築したシステムにおいて脆弱性が識別された場合は発注者に報告するとともに、対応について協議すること。
- (エ) 独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方（改訂第 7 版）」に例示されている脆弱性を含むことがないように構築すること。また、新たに脅威が識別された場合には問題の解消を速やかに行うこと。
- (オ) 本運用前に脆弱性診断を 1 回実施し、脆弱性が識別された場合には改善を図ること。なお、改善の実施に当たっては、識別された脆弱性に対して対応の優先度付けを行う等の検討・判断が必要であることから、発注者と協議の上、決定するものとする。
- (カ) 不正アクセスの兆候を発見するため、各種ログ（アクセスログ、システム稼働ログ、障害時のシステム出力ログなど）及び障害対応記録を取得し、1 年以上保存すること。
  - ・ ログとして取得する項目、保存期間及び取得方法等について定め、適切にログを管理すること。
  - ・ 取得したログを点検又は分析する機能を設け、必要に応じて悪意のある第三者からの不正侵入、不正操作等の有無について点検又は分析を実施するとともに、その結果について発注者に報告すること。
  - ・ ログを格納しているファイル、ログを利用する監査機能は、管理権限を持つ者のみに利用を制限する機能を有すること。

#### エ テスト環境の構築

- (ア) 運用開始後もトラブルや追加開発等を行った際の事前検証を実施するためのテスト環境を用意すること。
- (イ) テスト環境には、発注者及び受注者以外の閲覧等を拒否するための仕組み（IP アドレス制限、ダイジェスト認証等）を導入すること。
- (ウ) テスト環境のハードウェア要件及びソフトウェア要件は、上記 6 (1) と同等にすること。

#### オ その他

開発に伴う移行作業の進捗及び運用開始後の機能追加等の際に、適切な運用が行えることを、発注者が目視やテスト環境における操作等で確認できる様にする。

(参考) 現行のウェブサーバ等  
別紙 2 のとおり。

#### (2) 構築作業

本稼働までに、次の作業を実施し、各作業完了後に結果を報告すること。また定期的に作業の進捗を報告することとし、報告頻度については発注者と協議の上、決定すること。

と。

ア 設計・システム開発

想定される環境で円滑に稼働するよう、適切な設計及びシステム開発を行うこと。

イ 運用テスト

運用テスト実施の際は、発注者からの問い合わせに対して、即座に対応できるよう、適切な支援体制を整えること。

(3) 機能要件

別紙3「別紙3 機能要件一覧」のとおり。

なお、ID 及びパスワードの発行、権限設定は発注者からの依頼に基づき受注者が行う。パスワードは暗号化して記録するほか、発注者と協議の上、類推が困難な複雑性のある文字列を設定すること。

別紙3の他、本業務の目的を達成する上で、付加できる効果的な機能等があれば提案すること。

(4) 現行システムからのデータ移行

ア 現行システムに登録されているコンテンツについて、再構築後のシステムへ移行・登録すること。ただし、既存の掲載内容は見直しを予定しており、移行が必要なコンテンツについては発注者と協議の上決定すること。

イ 契約後、移行の手順等は発注者と協議の上、決定すること。

ウ データ移行に係るすべての作業は、アクセス設定に必要な情報など一部データの提供を除いて基本的に受注者が実施すること。また、移行に伴い、現行運用業者による作業及び協議が発生する場合は事前に調整の上、これに係る費用はすべて受注者が負担すること。

エ 現行システムのデータ一覧

移行の対象となりうるデータ件数は表3のとおり。(件数には、現在公開していない過去のウェブページデータ等も含む)

表3 移行の対象となりうるデータの種類と件数(令和5年4月28日現在)

ウェブサイト名	区分	件数
産振 HP	ウェブページ	約 100 件
支援センターHP	ウェブページ	約 3,000 件
工技 HP	ウェブページ	約 1,500 件
企業支援情報 HP	ウェブページ	約 400 件
企業情報 HP	登録企業情報 (ウェブサイト上で公開する情報及び 企業の担当者情報など非公開のものを含む)	約 1,700 件

(5) ウェブサイトに係る要件

ア ドメイン

当該システムで対象とするサブドメインは以下のとおりとする。

- (7) 企業支援情報 HP <https://www.economy.city.hiroshima.jp/>
- (イ) 産振 HP <https://www.ipc.city.hiroshima.jp/>
- (ウ) 支援センターHP <https://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/>
- (エ) 工技 HP <https://www.itc.city.hiroshima.jp/>
- (オ) 企業情報 HP <https://www.hitec.city.hiroshima.jp/>

なお、ドメインの DNS 設定については、受注者とドメイン管理部署で打ち合わせの上、変更内容を詰めること。

#### イ 動作環境

- (7) 産業情報システムの操作にあたっては、ウェブブラウザのみで利用できることとし、事前に特別なアプリケーションをインストールする必要がないこと。
- (イ) OS (Windows、Mac OS、iOS 及び Android) 及びブラウザ (Chrome、Edge、Firefox、Safari) のサポートされているバージョンに対応していること。
- (ウ) UTF8 に対応していること。
- (エ) ウェブサイトは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。

#### ウ ウェブサイト設計

ウェブサイトの設計方針は以下のとおりとし、「JIS X 8341-3:2016」も考慮するなど、アクセシビリティ・ユーザビリティ等に配慮した最適なウェブサイト設計を行うこと。

- (7) 閲覧者にとっての使いやすさを最優先とし、カテゴリを見ただけでウェブサイトの内容を想像できるカテゴリ分類となるよう、設計を行うこと。
- (イ) 主要な情報または複数のカテゴリに関係するウェブページについては、トップページから複数の経路を使って目的のウェブページへアクセスすることができるようにすること。

#### エ トップページデザイン

- (7) トップページデザインについては、ウェブサイトの全体構成、掲載項目の整理、閲覧者のアクセシビリティ・ユーザビリティ等を考慮すること。
- (イ) ウェブサイト全体として、標準化・統一化されたデザインとすること。

#### オ アクセス解析

アクセス解析ソフトを通じて、分析し結果を報告できるようにすること。

#### カ SEO 対策

Google 等のロボット巡回による情報収集を排除しないなど、SEO を意識してその対策を講じること。

### 7 システムの保守・運用要件

再構築した産業情報システム開設以降の保守・運用を以下のとおり行う。

#### (1) 運用管理体制

##### ア 運用計画

受注者は、保守・運用計画書を作成し、事前に発注者に承認を得ること。

##### イ 会議

効果的な PR とするための改善提案会議を開催することとし、開催日については、

発注者と受注者が協議の上決定する。会議の議事録は受注者が作成すること。

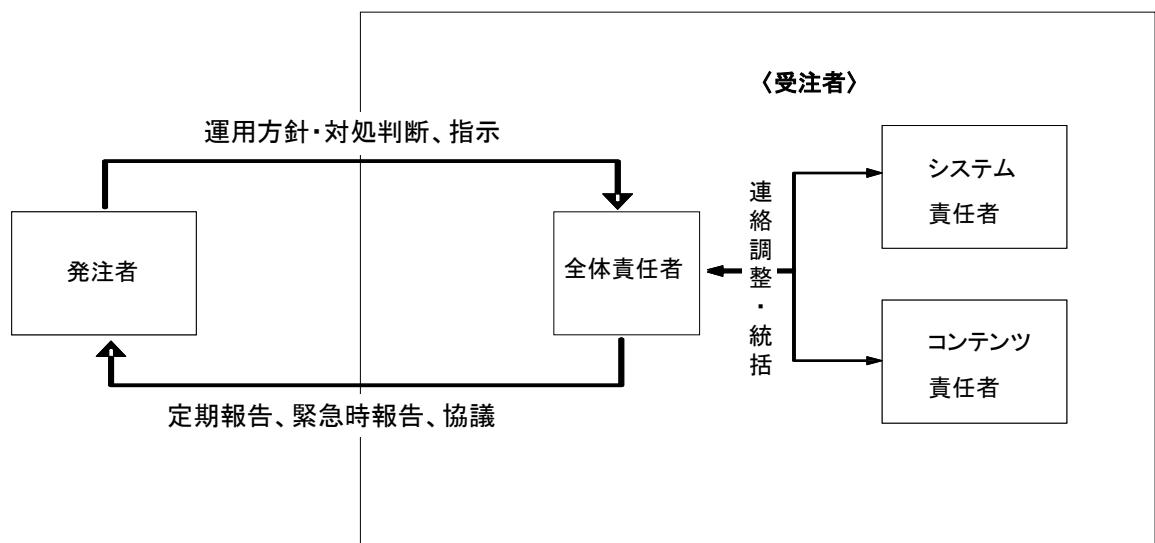
ウ 保守・運用体制

保守・運用体制について、以下を参考に体制を整備し、発注者の承認を得ること。  
通常時及び障害時の連絡体制についても記載すること。

運用保守体制（参考）

項目	内容
全体責任者	発注者との連絡窓口、定期的な報告、運用作業全般の統括を行う。
システム責任者	各担当者間の調整を行う。
コンテンツ責任者	安定的な稼働を行うための監視業務を行う。

運用管理体制図（参考）



(2) ウェブシステム保守・運用

ア ウェブシステム管理

ウェブサイト内のシステムが安定的に稼働するよう定期的な保守を行うこと。

イ Q&A 対応

(7) CMS の操作方法等に関する発注者からの問い合わせに早急に回答できる体制を整備すること。

(1) 対応時間は平日（土・日・祝日・年末年始を除く）の8時30分から17時15分までとする。ただし、システム障害などの緊急時は、上記時間以外でも対応すること。

(3) サーバ保守・運用

自社運営または、サーバ運用事業者に委託する場合、ウェブサーバが安定的に稼働するため以下の条件を満たすこと。

ア 監視

24 時間 365 日稼働監視

イ 障害対応 復旧

24 時間 365 日復旧対応

ウ バックアップ

バックアップの取得方法及び頻度については、受注者において最適と考えられる方法を提案すること。

エ セキュリティ

サーバ OS、ミドルウェアが適切に管理されていること。

オ 性能

ウェブサイト、ウェブシステム運用に十分な性能を有すること。

(4) 英語版ページ作成・更新

企業情報 HP について、日本語ページを元に英語ページを作成・更新すること。  
作成・更新する内容は企業からの依頼に基づき発注者が受注者に指示する。

ア 支払方法

件数と文字数による実績支払いとする。

イ 予定数量

50 件・10,000 文字／年

ウ 文字数のカウント方法

カウント方法の詳細は別に定めるが、概要は以下のとおりとする。

(ア) 新規作成

- ・ 全ての文字をカウントする。

(イ) 更新

- ・ 読点、カンマ、ドット、アルファベット、アラビア数字等の翻訳を必要としないものはカウントしない。
- ・ 登録項目単位で削除があった場合はカウントしない。
- ・ 空白、改行、写真、イラストの追加・更新はカウントしない。
- ・ 文章の途中で追加・更新・削除をされた内容は、翻訳後の英語の文脈が変わるため、句読点や空白で区切られる 1 文を最小単位とする。

8 教育及び運用

(1) 操作マニュアルの作成

修正、更新作業を行うための、使用方法に関するマニュアルを ID の権限レベル（管理者、編集者、登録企業等）ごとに作成し、誰にでも操作が理解できるよう、図式化したマニュアルを作成すること。作成に係る費用は受注者の負担とする。

(2) 操作研修

作成者及び承認者（10 名～20 名程度の参加で計 2 回を想定）に対して、操作マニュアルをもとにウェブサイトの構成、更新の方法やトラブル対応、アクセシビリティの基礎知識についての研修を行うこと。実施時期については別途受注者と協議の上決定すること。研修実施に係る費用は受注者の負担とする。

## 9 成果物

本事業のプロジェクト管理に関するもの及び各工程の計画、成果に関するもの並びにシステム運用・操作、ウェブページの作成方法等に関する内容の各種ドキュメント類については、受注者が作成するものとする。

### (1) ドキュメント等成果物

#### ア ソフトウェアライセンス

本業務を実施するためのソフトウェア及びアプリケーションは、本稼働までにシステムサーバにインストールした状態で納入すること。

#### イ ドキュメント

##### (ア) プロジェクト管理等

システム計画書	システム全体の概要を記述した文書
プロジェクト計画書	プロジェクトにおける対象業務とその機能、システム構成の方針、導入方法とスケジュール、導入の推進体制や導入方法／管理方法など、当該プロジェクトの基本方針や全体構想及び導入方法といった基本的な計画を記述した文書

##### (イ) システム等

システム仕様書等	システムの仕様書に関する記述をした文書
ウェブサイト設計書	ウェブサイトの設計書及びデザインの図面
テンプレート設計書	作成したテンプレートに関する設計書

##### (ウ) 各種テスト等

単体テスト計画書	プログラム設計書に基づいて開発した各プログラムが、設計どおりに単体で動作することをテストする計画を記述した文書
結合テスト計画書	プログラム設計書に基づいて開発した各サブシステムを構成するプログラムを結合したときに、サブシステムがプログラム設計書どおりに動作することをテストする計画を記述した文書
総合テスト計画書 (ユーザーテスト)	システム全体がシステム設計書どおりに動作することをテストする計画を記述した文書
テスト結果報告書 (ユーザーテスト)	各種テスト結果を記述した文書（複数名の確認書）

##### (エ) マニュアル

管理者用マニュアル	SEO マニュアル・システム運用・操作マニュアル、障害時対応マニュアル、CMS 用ウェブサイト作成マニュアル（HTML タグの解説に関して記述した文書を含む。）、よくある質問とその回答集（FAQ）などを記述した文書
編集者用マニュアル	Web ページを編集する際の操作マニュアル、よくある質問とその回答集（FAQ）などを記述した文書

登録企業用マニュアル（企業情報 HP 専用）	自社ページ及び自社登録情報を編集する際の操作マニュアル、パスワード再発行マニュアル、よくある質問とその回答集（FAQ）などを記述した文書
------------------------	--

(オ) 保守・運用

保守・運用計画書	保守・運用の内容、体制を記述した文書
障害時対応計画書	障害発生時の対応内容、体制を記述した文書
月間報告書	月間の稼働状況等を記述した文書 (項目は表4のとおり)

表4 月間報告書の報告項目一覧

項目	内容
稼働状況	・ 稼働状況、対応状況について
障害対応	・ 障害状況、対応内容について
計画による運用停止	・ 期間中に停止が必要なことについて
閲覧状況等に 係る統計資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閲覧状況（ドメインごとのアクセス解析ソフトによるユーザ数、ページビュー数、セッション数、新規セッション率の年間、月間）</li> <li>・ 発注者が定める様式のページビューの月別、四半期ごと、前年度比較</li> <li>・ 参照の多いウェブページ・フォルダ上位25位</li> <li>・ 国別ページビュー数</li> <li>・ 発注者が指示するウェブページのアクセス解析</li> </ul>
作業指示書の 対応状況	・ 作業指示の進捗報告
データ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーバの容量（外部 DMZ サーバ及び内部サーバの使用量の推移）</li> <li>・ 稼働状況の報告</li> <li>・ 定期バックアップの実施（1日1回以上）</li> <li>・ バックアップ媒体の管理</li> <li>・ バックアップファイルの推移</li> <li>・ セキュリティ監視等</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の臨時業務の実績</li> <li>・ その他、発注者が必要と認めるもの</li> </ul>

(2) 納品媒体及び数量

紙媒体（A4版で1部）及び電子データを各2セット提出すること。

(3) 納品場所

公益財団法人広島市産業振興センター

#### (4) 提出期限等

##### ア 完了報告及び成果物

- (7) 受注者は、発注者に対して再構築に係る委託業務実施報告書を令和6年2月29日（別紙3「機能要件一覧」項番46の企業側でのメンテナンス機能に関する部分については令和6年3月31日）までに提出すること。
- (4) 受注者は、発注者に対して運用期間中、月ごとの業務実施報告書を、業務実施月の翌月10日（毎年3月分については3月31日）までに提出すること。
- (5) 受注者は、発注者に対して成果物を適宜提出すること。

##### イ 検査の実施

発注者は、成果物の納入後、速やかに検査を行う。

##### ウ 再検査

前項の検査の結果不備が認められた場合、受注者は速やかに修正した成果物を再度納入する。発注者は、再度納入された成果物の検査を速やかに行う。

#### (5) 留意事項

ア 承認が得られない場合、受注者は速やかに代案を作成し、発注者の承認を得ること。

イ 作成した全てのコンテンツがテスト環境で正しく掲載・表示されていることを確認し、複数名による確認書を提出すること。

ウ 各種ドキュメントの内容に関しては、発注者に対し十分な説明と、操作に関して必要なトレーニングを行い、内容の承認を得てから納品すること。

#### 10 その他

##### (1) 貸与品

ア 機器の設定等に必要な資料等は、その都度貸与する。

イ 貸与品の管理保管は、不測の事態が生じないように適正に管理保管しなければならない。

##### (2) 機密保護

ア 個人情報、秘密と指定した事項及び業務の履行に際し知り得た情報（以下、「秘密情報」という。）を第三者に漏らし、または本業務の目的以外で利用してはならない。契約終了後も同様とする。

イ 秘密情報を取り扱う責任者及び従事者は、秘密保持を誓約しなければならない。再委託先についても同様とする。

ウ 個人情報の取扱いについては、発注者の定める個人情報保護規程に準じる。

##### (3) 再委託

ア 本調達の委託契約部分に係る業務の全部または一部の処理を第三者に再委託する場合、あらかじめ書面により再委託をすることについて発注者の承認を得ること。再委託の取扱いについては、発注者が定める委託契約約款に準ずること。

イ 受注者は、再委託先の行為については、全責任を負うこと。

(4) 権利の帰属

本業務の履行により作成され成果物の著作権等の取り扱いは、次の各号に定めるところによる。

ア 本業務の成果物（本業務により作成されたウェブサイトに関する情報、仕組等）に対する著作権その他一切の権利は、発注者に帰属するものとする。受注者は、発注者が必要に応じて成果物の変更、その他の改変を行うことを了承するとともに、著作者人格権を行使しないものとする。

イ 受注者は、本業務の履行について、特許権その他第三者の権利の対象となっている処理方法を使用する場合は、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。

ウ 受注者は、発注者の書面による承諾なくして、成果物を目的外に利用し又は第三者に提供し、若しくは利用させてはならない。委託期間の終了後又は委託契約が解除された後においても同様とする。

エ 受注者は、本業務の内容を、他の用途に使用してはならない。

(5) その他

ア 発注者は、受注者が業務の実施にあたり仕様書の項目に反した場合には、契約金額の一部又は全部を返還させることができる権利を有するものとする。

イ 委託契約の締結については、発注者所定の「委託契約約款」に基づくものとする。

ウ 本業務終了後も事業継続を前提とした事業設計とすること。

エ 本仕様書に疑義が生じたとき、又は、定めのない事項については、発注者と受注者が協議して定めるものとする。また、協議した場合は受注者で協議録を作成し、発注者へ提出すること。

ひろしまの企業支援情報  
全体ポータル(左側バー)

- サイト内検索
- ひろしまの企業情報  
(日本語)
- ひろしまの企業情報  
(英語)
- 掲載企業募集中!
- 掲載窓口 コース、元英です  
か?

産業振興センター各サイトリンク  
表題(灰色枠)  
サイト内ページ  
共通  
サイト外リンク

ひろしまの企業支援情報  
全体ポータル

- 産業振興センター
  - 中小企業支援セン  
ター
  - 経営意欲の強化
    - コーディネーターによる支援
    - 窓口相談
    - 経営支援アドバイザー派遣
  - 新技術・新商品の開発及び販路開拓
    - コーディネーターによる支援
    - 新規販路ビジネス事業化支援事業
    - 見本市等出展協成
  - 期待と魅力ある職業の探検
    - いい雇ひらしま顕彰事業
    - 商店街等活性化支援アドバイザー派遣
    - 活みある顕彰事業の展開
  - 流通革新研究会
  - 起業を志す人の方
    - 創業しやすい環境づくり
    - 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業
    - 研修会・セミナー
    - 起業支援アドバイザー派遣
  - 人材育成・確保
    - セミナー
    - 習熟によるプログ
    - 支援センター職員によるプログ
  - メールマガジン  
広島県産業振興センターNEWS
- 工業技術センター
  - 技術力の向上
    - 技術研修相談
    - 工業技術支援アドバイザー派遣
    - 体験試験(有料)
    - 設備投資(有料)
  - デザイン開発力の向上
    - ひろしまデザインイン  
フ
    - デザインインボシム
    - ひろしまデザインネットワークとは
  - 技術革新への対応
    - 技術研修
    - 研究会
    - メールニュース  
経営者ネットワーク・コミュニティ
- 経営者の方へお役  
立ち情報
  - 経営を安定させたい! 欲しいしたい!
  - 窓口相談
  - 経営支援アドバイザー派遣
  - 緊急経営支援アドバイザー派遣
  - 経営者経営支援アドバイザー派遣
  - 輸出活性化支援アドバイザー派遣
  - コーディネーターによる支援
  - 商店街等活性化支援アドバイザー
  - 経営革新・リンク
- 技術を向上させたい!
- 技術研修・相談
- 技術開発に関する物販(各種物販)
- ひろしまデザインイン  
フ
- 研究会の紹介
- 特許実用新案(一社)広島県発明協  
会
- 人材を育成したい!
- 研修・セミナー
- 講習会
- 中小企業大学校広島校
- 異業を振興したい!
- 異業相談
- 融資や物販を受けたい!
- 広島市の中小企業融資制度
- 商店街の振興
- 融資制度のある機関一覧表
- 経営ビジネスプラン等への物販(ひろ  
しまベンチャー育成基金)
- 雇用・福利について知りたい!
- 県民からの人材確保の支援(UI-ターン  
奨励就業紹介)
- 労働安全衛生等相談
- 求人・求職支援(職業紹介及び内職の  
あっせん)
- 高齢者の知識と経験を活かす(シルバー  
人材バンク)
- 県庁舎雇用アドバイザー制度
- 雇用に関する物販
- 商工労働関係の各種共済制度
- 広島市中小企業勤労者共済事業(フワ  
ジ)
- 雇いたい! 働きたい! 働きたい! 働きたい!
- 窓口相談
- 就業支援
- 就業支援費の確保
- 就業支援アドバイザーの派遣
- 就業チャレンジ支援事業
- 就業に必要な法律・経営・輸出等
- 経営ビジネスプラン等への物販(ひろ  
しまベンチャー育成基金)
- 広島市の入札・契約
- 広島市の入札・契約

ひろしまの企業支援情報  
全体ポータル(右側バー)

- 公益財団法人広島  
市産業振興センター
- ひろしまグッドデザ  
イン賞
- と・つ・く
- ひろしまビジネスサ  
ポート事業
- いい雇ひらしま顕彰  
事業
- 広島市中小企業向  
け施策の紹介
- 広島市立中央図書  
館
- 広島市産業振興セ  
ンターNEWS
- ひろしまナビゲー  
ター
- ミラサplus
- みらデザ
- 広島市中小企業  
支援ナビ
- インボイス制度特設  
リンク集

- アクセスマップ
- リンク集
- プライバシーポリシー
- お問い合わせ
- 著作権について

公益財団法人  
広島市産業振興センター  
(左側ナビ・バナー)

- サイト内検索
- トップページ
- 当財団のご案内
- 沿革
- 組織と業務
- 事業計画・決算書
- 施設のご案内
- 一般競争入札
- 職員採用について
- 著作権について
- お問い合わせ

産業振興センター各サイトリンク  
表題(灰色枠)  
サイト内ページ  
共通  
サイト外リンク

公益財団法人  
広島市産業振興センター

- 中小企業支援センター
  - 経営基盤の強化
  - コーディネータによる支援
  - 窓口相談
  - 経営支援アドバイザー派遣
  - 新技術・新商品の開発及び販路開拓
    - コーディネータによる支援
    - 新成長ビジネス事業化支援事業
  - 見本市等出店助成
  - 個性と魅力ある商業の振興
    - いい店ひろしま顕彰事業
    - 商店街等活性化支援アドバイザー派遣
  - 活力ある卸売業の振興
- 創業をお考えの方
  - 創業しやすい環境づくり
    - 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業
  - 研修会・セミナー
  - 起業支援アドバイザー派遣
- 人材育成・確保
  - セミナー
- 職員によるブログ
  - 支援センター職員によるブログ
- メールマガジン  
広島市産業振興センターNEWS
- 工業技術センター
  - 技術力の向上
    - 技術指導相談
    - 工業技術支援アドバイザー派遣
  - 依頼試験(有料)
  - 設備使用(有料)
  - デザイン開発力の向上
    - ひろしまグッドデザイン賞
    - デザインシンポジウム
    - ひろしまデザインネットワークとは
  - 技術革新への対応
    - 技術者研修
    - 研究開発
- メールニュース  
産学官ネットワークニュース
- 公益財団法人広島市産業振興センター事務局からのお知らせ

公益財団法人  
広島市産業振興センター(フッター)

- ソーシャルメディア
- サイトマップ
- アクセスマップ
- リンク集
- プライバシーポリシー
- お問い合わせ
- 著作権について

公益財団法人  
広島市産業振興センター  
(右側バナー)

- 研修室・会議室のご案内
- メールマガジン  
広島市産業振興センターNEWS
- ひろしまビジネスサポート事例
- いい店ひろしま顕彰事業
- ひろしまグッドデザイン賞
- と、つくる
- 広島地域中小企業支援プラットフォーム
- ミラサボplus
- みらデジ
- 広島市域中小企業支援ナビ
- インボイス制度特設リンク集
- ひろしまの企業情報(日本語)
- ひろしまの企業情報(英語)
- 掲載企業募集中!

**中小企業支援センター  
(左側ナビ・バナー)**

- **サイト内検索**
- 広島市中小企業支援センターについて
- 相談別ご利用案内
- 窓口相談
- **経営支援**
  - 窓口相談
  - コーディネータによる支援
  - 経営支援アドバイザー派遣
  - 里山・離島活性化支援アドバイザー派遣
  - 商店街等活性化支援アドバイザー派遣
  - 景気対応等経営支援アドバイザー派遣事業
  - 障害者経営支援アドバイザー派遣
  - 経営革新パック
  - 専門家・窓口相談員名簿
- 創業をお考えの方
- **創業支援**
  - 窓口相談
  - 創業特別窓口支援
  - 創業支援アドバイザー派遣
  - 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業
  - 専門家・窓口相談員名簿
- 創業者紹介
- セミナー・研修会
- 助成金
  - 見本市等出展助成金
  - 新成長ビジネス事業化支援事業(助成金)
- 広島地域中小機企業支援プラットフォーム
- 広島市の中小企業融資制度のご案内
- セーフティネット保証の申請について
- 広島市中小起業施策の紹介
- いい店ひろしま顕彰事業
- 広島市産業振興センターNEWS(メールマガジン)
- コラム
- おすすめビジネス図書
- 広島市中小企業支援センターブログ
- ひろしまビジネスサポート事例
- アクセスマップ
- お問い合わせ
- @HiroshimaCSMEACさんのツイート
- ひろしまの企業支援情報
- 公益財団法人 広島市産業振興センター
- 広島市工業技術センター

**中小企業支援センター**

- 窓口相談
- 支援センター職員によるブログ
- **ホットニュース**
- 中小企業支援センターからのお知らせ
- **その他**
- 広島市工業技術センターからのお知らせ
- 関係支援機関等からのお知らせ

**中小企業支援センター(フッター)**

- **ソーシャルメディア**
- サイトマップ
- アクセスマップ
- リンク集
- プライバシーポリシー
- お問い合わせ
- 著作権について

**中小企業支援センター  
(右側バナー)**

- ひろしまの企業情報(日本語)
- ひろしまの企業情報(英語)
- 掲載企業募集!
- と、つくる
- 広島市立中央図書館
- ころ、元気ですか?相談窓口
- ミラサポplus
- みらデジ
- 広島市域中小企業支援ナビ
- 知財総合支援窓口
- HIELCC
- リンク集
- インボイス制度特設リンク集

産業振興センター各サイトリンク  
 表題(灰色枠)  
 サイト内ページ  
 共通  
 サイト外リンク

**広島市工業技術センター  
(左側ナビ・バナー)**

- **サイト内検索**
- トップページ
- 広島市工業技術センターについて
  - └ 組織及び業務
  - └ 沿革
  - └ 施設規模
- ご利用案内
- 設備利用(有料)
  - └ ご利用の手順
  - └ 設備使用許可申請書(見本)
  - └ 施設使用料
- 設備機器の紹介
- 依頼試験(有料)
  - └ ご利用の手順
  - └ 試験依頼書
  - └ 試験手数料
- 技術レポート(有料)
  - └ 技術レポートの交付について
  - └ 技術レポートの交付依頼書
- 技術指導・相談
  - └ ご利用の手順
  - └ 技術指導・相談
  - └ 業務紹介事例
- 工業技術アドバイザー派遣事業
- 研究会
- 講習会
- デザイン
  - └ ひろしまグッドデザイン賞
  - └ と、つくる
- 発明考案奨励
  - └ 優良発明功績者表彰
  - └ 児童生徒発明くふう展
- 産学官連携ネットワーク  
ニュース(登録)
- 年報(事業報告・研究報告)
- 研究報告・事例報告
- 様式ダウンロード
- アクセスマップ
- お問い合わせ
- @HiroshimaOSMEACさんのツイート
- ひろしまの企業支援情報
- 公益財団法人  
広島市産業振興センター
- 広島市  
中小企業支援センター

**広島市工業技術センター**

- ホットニュース
- 広島市工業技術センターからのお知らせ
- その他
  - └ 広島市中小企業支援センターからのお知らせ
  - └ 関係支援機関等からのお知らせ

**広島市工業技術センター(フッター)**

- ソーシャルメディア
- サイトマップ
- アクセスマップ
- リンク集
- プライバシーポリシー
- お問い合わせ
- よくあるご質問
- 著作権について

産業振興センター各サイトリンク  
表題(灰色枠)  
サイト内ページ  
**共通**  
サイト外リンク

**広島市工業技術センター  
(右側バナー)**

- ひろしまグッドデザイン賞
- と、つくる
  - └ 広島市産業振興センターNEWS
  - └ メールマガジン
  - └ 中国地域公設研究機関の開放機器
  - └ 広島市中小企業向け施策の紹介
  - └ ひろしまビジネスサポート事例
- 機器・技術総合案内
- JKA Social Action
- 公益財団法人 JKA 補助事業完了のお知らせ
- KEIRIN.JP
- 樹脂やゴム材料等の分析・評価に関する技術情報DB & 研究者・グループ名鑑
- ミラサポplus
- みらデジ
  - └ 広島市域中小企業支援ナビ
  - └ ひろしまの企業情報(日本語)
  - └ ひろしまの企業情報(英語)
- 掲載企業募集中!

## ひろしまの企業情報 (左側ナビ・バーナー)

- パスワード再発行
- 検索
- 掲載企業募集中!
- トップページ
- 企業情報の募集について!
- 操作の仕方について
- ひろしまの企業支援情報
- 公益財団法人  
広島市産業振興センター
- 広島市  
中小企業支援センター
- 広島市  
工業技術センター
- と、つくる
- 機器・技術総合案内

産業振興センター各サイトリンク  
表題(灰色枠)  
サイト内ページ  
共通  
サイト外リンク

## ひろしまの企業情報

- ひろしまの企業情報(英語)
- 新着情報
- 登録企業一覧
- 検索
- 検索方法について
- 登録企業一覧
- ア行
- カ行
- サ行
- タ行
- ナ行
- ハ行
- マ行
- ヤ行
- ラ・ワ行
- 製造業
- 食料品製造業  
飲料・たばこ・飼料製造業
- 繊維工業
- 木材・木製品製造業(家具を除く)
- 家具・装備品製造業
- パルプ・紙・紙加工品製造業
- 印刷・同関連業
- 化学工業
- 石油製品・石炭製品製造業
- プラスチック製品製造業(別掲を除く)
- ゴム製品製造業
- なめし革・同製品・毛皮製造業
- 窯業・土石製品製造業
- 鉄鋼業
- 非鉄金属製造業
- 金属製品製造業
- はん用機械器具製造業
- 生産用機械器具製造業
- 業務用機械器具製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 電気機械器具製造業
- 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業
- その他製造業
- 製造業の登録企業一覧
- 情報通信業
- 情報サービス業
- インターネット附属サービス業
- 情報通信業の登録企業一覧
- 卸売業
- 各種商品卸売業
- 繊維・衣服等卸売業
- 飲食品卸売業
- 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
- 機械器具卸売業
- その他の卸売業
- 卸売業の登録企業一覧
- デザイン業
- インダストリアルデザイン
- テキスタイル、ファッションデザイン
- パッケージデザイン
- インテリアデザイン
- グラフィックデザイン
- マルチメディアデザイン
- ディスプレイデザイン
- その他
- デザイン業の登録企業一覧

## ひろしまの企業情報(フッター)

- アクセスマップ
- プライバシーポリシー
- お問い合わせ
- 著作権について

別紙2 現行のウェブサーバ等

1 現行のウェブサーバ等のソフトウェア要件

用途	型名等	備考
外部サーバ		
OS	CentOS 7.5.1804(Core)	富士通 広島市外郭団体 LANシステム
ウェブサーバ	メモリ8G ディスク50GB	
CMS他主なウェブ構築言語		
PowerCMS	ver 4.21	(Movable Type Pro version 6.2.6)
PHP	ver 5.4.16	ひろしまの企業情報用
perl-core	ver 5.16.3	PowerCMS用
メール配信		
Sendmail		
Blastmail		中小企業支援センターメールマガジン用 Lightプラン 5000アドレス
SSL証明書		
	RapidSSL 1年 2024/2/16迄	ドメイン毎www.economy.city.hiroshima.jp
	GlobalSign 1年 2023/10/15迄	ドメイン毎www.ipc.city.hiroshima.jp
	RapidSSL 1年 2024/6/23迄	ドメイン毎www.assist.ipc.city.hiroshima.jp
	RapidSSL 1年 2024/6/23迄	ドメイン毎www.itc.city.hiroshima.jp
	RapidSSL 1年 2024/6/23迄	ドメイン毎www.hitec.city.hiroshima.jp
内部サーバ		
OS	CentOS 7.5.1804(Core)	富士通 広島市外郭団体 LANシステム
データベースサーバ	メモリ8G ディスク50GB	
データベースソフト	my-sql サーバver 5.7.24	PowerCMS 及び ひろしまの企業情報のデータベースとして利用

2 その他

用途	型名等	備考
ウイルス対策ソフト	Dr. Web	富士通 クラウド環境での監視
アクセス解析ソフト		
Google Analytics		ドメイン毎www.economy.city.hiroshima.jp
		ドメイン毎www.ipc.city.hiroshima.jp
		ドメイン毎www.assist.ipc.city.hiroshima.jp
		ドメイン毎www.itc.city.hiroshima.jp
		ドメイン毎www.hitec.city.hiroshima.jp
メール配信	同報@mail	工業技術センターメール産学官連携ネットワーク ニュース用 (CMSから連携項目出力)

## 別紙3 機能要件一覧

項番	機能区分		概要	要件区分	
	No.	名称		必須	推奨
1	1	検索機能	ウェブサイト内をキーワード検索することが出来る機能を設け、閲覧者が求める的確な検索結果が表示されるようにすること。	○	
2	1	検索機能	特定のページでは、検索条件を設定した検索機能も有すること。	○	
3	2	新着情報発信機能	画像とともに新着情報が表示される欄をトップページに設けること。	○	
4	3	SNSとの連携機能	トップページにSNSコンテンツの埋め込みができること。	○	
5	3	SNSとの連携機能	SNSページ上で当ウェブサイトのコンテンツを表示する際、その見え方に配慮すること。	○	
6	4	フォーム機能	閲覧者からの問い合わせ、セミナー等申し込み、アンケート等を受け付けるフォーム機能を有すること。	○	
7	4	フォーム機能	フォームにファイルを添付できるとし、フォームに添付されたファイルはウイルスチェックを行うなどのセキュリティ対策を行うこと。		○
8	4	フォーム機能	発注者が容易にフォームの項目を追加・編集・削除できること。	○	
9	4	フォーム機能	項目ごとに制限文字数を設定でき、データ入力時に文字制限を超える等の誤入力があった場合は適切な対処ができること。	○	
10	4	フォーム機能	閲覧者からフォームを使って送信された情報を、CSV形式又はTSV形式のデータ形式でエクスポートできること。また、入力されたフォームごとに抽出するなど、エクスポートする情報を任意に選択できること。	○	
11	4	フォーム機能	選択した情報を集計できる機能を有すること。		○
12	5	外国語翻訳機能	すべてのウェブページ（企業情報HPを除く）で英語等他外国語に対応した外国語自動翻訳ができること。		○
13	6	印刷	閲覧者がウェブページを印刷する際に極力書式が崩れないよう配慮すること。なお、印刷はA4サイズを想定している。	○	
14	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	発注者が情報を直接更新できるウェブベースのシステムとすること。	○	
15	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	権限に応じたユーザID・パスワードを割り当て、コンテンツの修正・公開・削除等のワークフロー管理を可能とすること。	○	
16	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	コンテンツの公開日、公開終了日の指定を可能とすること。	○	
17	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	HTMLを意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性により、コンテンツを編集できること。	○	
18	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	公開中のデータや、過去のデータの複製・編集・削除等を可能にするなど、コンテンツ登録等の効率化のための工夫を行うこと。	○	
19	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	コンテンツ編集と同時に、新着情報欄に表示する画像・文言等及び公開期間（開始及び終了日時）を指定できるようにすること。	○	
20	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	画像ファイルをアップロードするときは代替テキストの入力ができるようにし、アクセシビリティに配慮したコンテンツ作成を支援するための工夫を行うこと。	○	
21	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	画像ファイルのアップロード先は、ウェブページと同じフォルダ内に保存する。もしくは定められたフォルダ内に保存する機能を有すること。	○	
22	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	閲覧時に支障が出るほど大きな画像ファイルがアップロードされたときには、ファイルサイズや画像サイズを縮小（横幅600px程度）して保存する機能、もしくは警告文を表示する機能を有すること。	○	
23	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	画像ファイルは、JPG形式、GIF形式、PNG形式を想定しているが、想定と異なるファイル形式の場合、JPG形式に変換して保存する機能、もしくは警告文を表示する機能を有すること。	○	
24	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	HTMLソースコードの修正・貼り付けの操作が行える機能を有すること。	○	
25	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	Googleマップ等の地図サービスの貼り付け機能を有すること。	○	
26	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	動画の貼り付け機能を有すること。	○	

項番	機能区分		概要	要件区分	
	No.	名称		必須	推奨
27	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	ウェブサイトの管理者は、公開予定又は既に公開されているコンテンツを編集及び確認できること。	○	
28	7	コンテンツの編集及び管理機能（CMSの要件）	URLのリンク切れについて適切な対処を施すこと。	○	
29	8	メールマガジン配信	2種類（中小企業支援センター、工業技術センター）のメールマガジンを配信できること。 中小企業支援センター：配信先数約5,000件、約20回／年 工業技術センター：配信先数約1,000件 約50回／年	○	
30	8	メールマガジン配信	メールマガジン別に送信対象者を管理できること。	○	
31	8	メールマガジン配信	ウェブブラウザ上で配信文面の入力や配信作業、配信リストのメンテナンスが可能な当該メールマガジン専用の管理画面による管理ができること。	○	
32	8	メールマガジン配信	管理者用のIDを中小企業支援センターと工業技術センターでそれぞれ使えるよう2つ発行すること。	○	
33	8	メールマガジン配信	事前に設定した配信日時に自動配信できること。	○	
34	8	メールマガジン配信	配信リストの全て又は担当職員が任意で選択したアドレスに配信できること。	○	
35	8	メールマガジン配信	配信日時、配信文面、配信リスト等の配信メールの履歴の参照ができること。	○	
36	8	メールマガジン配信	メールマガジン配信時のメール件名は担当職員が50字以内で自由に設定できること。	○	
37	8	メールマガジン配信	CSV形式又はTSV形式のデータ形式を用いたインポート、エクスポートによってメールアドレスの登録や抽出ができること。	○	
38	8	メールマガジン配信	メールマガジン配信時のメールアドレス欄は、受信者本人と送信者以外のメールアドレスが表示されないようにできること。	○	
39	8	メールマガジン配信	配信時エラーによって、一定の回数連続してメール配信できなかったメールアドレスについては、自動で配信を停止させる機能を有すること。	○	
40	8	メールマガジン配信	配信停止とする回数については、担当職員が設定、変更できること。	○	
41	8	メールマガジン配信	不配信があった場合は、そのアドレスを通知する機能を有すること。	○	
42	9	ユーザID及びパスワードの発行	ID及びパスワードによる認証ができること。	○	
43	9	ユーザID及びパスワードの発行	パスワードは英数記号混在で8文字以上が設定できること。	○	
44	9	ユーザID及びパスワードの発行	ユーザーID権限設定は以下の種類とする。 ・CMS（管理用・編集用） ・企業情報HP（管理用・編集用） ・メールマガジン（管理用）	○	
45	9	ユーザID及びパスワードの発行	ゲスト用IDを作成し、大きなファイルサイズのデータを受け渡しできる環境を用意又は提案すること。		○
46	9	ユーザID及びパスワードの発行	登録企業のパスワードの再発行を登録企業側で行えること。	○	
47	10	企業情報HP	登録企業が自社の情報のみを編集できること。	○	
48	10	企業情報HP	項目ごとに制限文字数を設定でき、データ入力時に文字制限を超える等の誤入力があった場合は適切な対処を行うこと。	○	
49	10	企業情報HP	登録企業が情報の編集を行った場合には、管理者への承認依頼ののち、管理者の承認・公開手続きが行われた上で、情報が公開されるようにすること。	○	
50	10	企業情報HP	掲載される企業情報がCSV形式のファイルで出力できること。	○	
51	10	企業情報HP	変更履歴が管理できること。	○	
52	10	企業情報HP	日本語で編集された登録企業の情報の英語ページを掲載できるようにするとともに、日本語版と英語版は相互に切替できるようにすること。	○	

項番	機能区分		概要	要件区分	
	No.	名称		必須	推奨
53	11	その他	閲覧者の端末の解像度に合わせて画面を表示するレスポンシブデザインを取り入れること。	○	
54	11	その他	検索結果で上位になるような仕組みを取り入れること。※パーマリンク設定、メルマガ配信時を考慮してURLに文字コードの羅列となる日本語を使わないなど。	○	
55	11	その他	閲覧者が問い合わせを容易に行える仕組みを取り入れること。※問い合わせのウェブページへの誘導を効率的に行うなど。	○	